



## 特別な民宿体験

### 一民宿の佐野ご夫妻

私たちが旅行に出かけるとき、宿泊先選びをしなくてはならないのだ。国内外にかかわらず、観光地以外の都市や地域を選ぶことはめったにない。有名な観光地への興味や素晴らしい風景への憧れというだけでなく、観光ルートから遠く離れた小さな町の魅力が知られていない、宿泊施設が不足しているなどの理由があって簡単には行かれないのだろう。

近年、ネット情報は世界を見る際に利便性を提供してきた。外の世界に興味を持ち勇気のある多くの人々は、旅行会社のツアーに頼らず、あまり知られない山村や漁港、そして小さな街の奥まで足を延ばすようにしてきた。地元の人が見慣れた光景や、シンプルで気取らないスタイルは、観光客の目には魅力的に映り、これまで無名だった場所が外国人の発見によって「観光名所」になることも多い。観光サービスの提供者にとっても、旅行愛好家にとっても、観光の概念は時代とともに変化している。ここでは私の最近の特別な民宿体験を読者と一緒に分かち合いたい。

### 民宿から与えられた驚きと喜び

10月中旬、私たち家族は岡山県と香川県で開催された瀬戸内国際芸術祭を見に行った。3年に一回の国際芸術展で、屋内展示だけでなく、いくつかの島や港にも屋外アートが展示されている。作品を見て回る途中、中国からの多くのアーティストや観光客に出会った。

計画を立てる際、国際芸術祭の閉幕が近いので、ちょうどよいホテルがどこも一杯だということが分かった。しかし幸いにも Airbnb で高松市に評判のいい民宿を見つけることができ、2日後、初めての四国旅行が始まった。

予定した Airbnb の宿の紹介ページには、ゲストとの交流や、グランドピアノがあってゲストが自由に弾くことができると書かれてあった。過去のゲストレビューには、ご主人の奥さんがわざわざピアノを弾いてくれたことに感謝していると綴られたコメントがあった。音楽好きな私の息子は奥さんとピアノを連弾したいが、受けてもらえるだろうかとご主人に尋ねたところ、「喜んで」との返事をもらったので、弾きやすい曲を準備して宿に泊まる日を楽しみにしていた。

一日目の観光を終え民宿に着いた時には周りはずっと暗くなっていた。民宿のご主人が宿の前待っている姿が見えた。民宿は築約 50 年の建物で立派な庭があった。昔風な畳部屋、



広々としたリビング、高級感が漂うゲストルームや庭の作りなどから、元の家主の教養の高さや趣味の良さがうかがえる。よく手入れされた松の古木、立派な石灯籠、青々とした苔や石の小道で作られた庭は、高級旅館に見られるようなものだった。室内の様々な場所から楽しむ違った姿を見せる庭と畳の日本間との調和は自然への回帰という気持ちが思い起こされて癒される。

ご主人の佐野さんの自宅はこの裏にあるそうだ。今年の初めに、縁あってこの家の所有者になった。元の所有者が建物と庭を大事にしてきたため、建物全体は綺麗に保たれ、家具やインテリアなどもそのままの状態に配置している。家の造りやインテリアには、建築・芸術・歴史・民俗などのさまざまな日本の文化要素が含まれており、戸建て住まい環境で日本の生活を気軽に体験できる。これは民宿だからこそ得られる驚きと喜びである。

ご主人が部屋の案内と説明をしていると、奥さんも挨拶に来てくれた。彼女は冷蔵庫を開けると水・ジュース・日本酒・アイスクリームはすべて無料と言い、コーヒーとティーバッグ、ダイニングテーブルに並べているスナックやチョコレートも自由に食べてくださいと話した。これほどのサービスはこれまで利用した5つ星ホテルでもなかった。Airbnb レビューに多くの宿泊客が星7つのサービスを提供するこの民宿を称賛するのも当然だ。

### 民宿のホストとゲストになる理由

日本では民宿の歴史が長く、簡易宿と定義されている。古来の民宿は、民家の一部が宿泊客に提供されるため、宿泊客は主人との交流を楽しむことができる。民宿を選んだ人は、価格の安さや、主人との交流、かれらの熱意とサービスを感じたいと思う。こういったホテルにない魅力が多くの人に民宿が選ばれる理由かもしれない。

近年、日本を訪れる外国人観光客の数が急増し、既存のホテルや旅館の数は市場のニーズに追いついていない。民間の空き家や空き部屋を生かした民宿という形態は大きなビジネスチャンスをもたらした。Airbnbの普及により、日本の民宿に対する認知度と利用率は外国人観光客のほうが日本人をはるかに上回っている。

この民宿の経過は同じようなことを物語っている。

初めのころ、佐野夫婦はこの空き家を民宿にすることは考えていなかった。知人のアドバイスでAirbnbの利用を知り、今年5月にAirbnbにデビューしたところ、外国人のネット予約が相次いでに入り、佐野夫婦は本当に驚いた。

佐野さんによると高松市は有名な大都市でもないのに、数少ないホテル・旅館が市内中心部の駅の近くに集中している地方都市である。高松駅から車で30分、商業エリアからも観光



エリアからも離れているうえに、観光客向けの施設も整備されていないため、はたしてこの民宿に泊まる客が現れるだろうかと不安であった。

ただし、ロケーションの面では不利だが、山や池、畑もあるのどかな日本の原風景は小さい町の持ち味と考えた。格調高い典型的な日本家屋という特徴を生かし、ホテルにない家庭的な温かみのあるサービスを提供している。ここを選ぶ外国人観光客は、本物の日本文化を体験し、普通の日本人とコミュニケーションがとれるようにしたらと考え民宿を始めた。

この民宿を通して、私たち夫婦は世界中のさまざまなバックグラウンドや職業の人々と出会う機会に恵まれ、彼らとの交流は、私たちも世界を見る窓を開かれ、様々な国民性や文化を知ることができた。

佐野夫婦は、海外旅行が好きで年に一度海外に行くそうである。昔はツアーに参加する形であったが、数年前から宿泊場所も自分で手配する旅行になった。海外の民宿を利用した際、滞在中温かくホストが迎えてくれ、旅にたくさんいい思い出ができた。この経験を、外国から来た客に自分たちと同じようにいい思い出を作ってあげてほしいと思いはじめ、佐野夫妻は共通の思いで二人三脚で経営に取り組んでいる。

### “もてなし”を極める精神

この1年間、私は Airbnb を通して、中国、台湾、香港、日本の大阪や千葉の民宿を6回利用した。朝食はなく、オーナーとは佐野夫婦のような交流もなかったが、宿泊施設とサービスにはまあまあ満足している。

しかし佐野夫婦の民宿は朝食を提供するだけでなく、その場所を自宅のリビングルームにしている。ゲストに日本の家族の雰囲気を感じてもらえることもでき、お互いにコミュニケーションをとる時間が自然に生まれると考えた。朝日の照らすバルコニーを通して外の風景を楽しみながら朝食をとることもこの民宿のユニークなサービスであると微笑んでいた。

確かにバルコニーから見える山と川を楽しみながら、朝日とそよ風の中でとる朝食は素晴らしい。また、地元の習慣や観光についてホスト夫妻と会話を楽しむこともできる。朝食スタイルは、佐野流儀のおもてなしである。その善良さと親切さに感激と敬意を表すコメントがたくさんある。

豊富なサービスは収入に影響を与えるかどうか尋ねたとき、奥さんは言った。民泊のおかげで定年後の夫の生活は楽しく充実した時間を過ごすことになった。お客さんが喜んでもらうことは私たちのやりがいである。サービスも私たちがやりたいようにしているのです、お金の



ためだけなら、続けるだけの熱意を持たなかったと思う。

佐野民宿は50組以上のゲストを迎えた。その中には外国人も日本人もいるが、誰もがAirbnbレビューにコメントと評価を残している。その一部を紹介する。

中国人 A：ここのご主人は、私がこれまでに利用した民宿の中で最も熱心で思いやりのある方です（その中の一人でなく、唯一である）。ご主人はいつも翻訳機を携帯しています。宿泊や旅行について、思いつく限り丁寧に教えてくれます。ご主人が作ってくれた観光プランは、駅名と時刻までこまやかに記載されていて、とても便利、安心して旅を楽しむことができました。奥さんはいつも明るい笑顔で、小さな花火や子供向けのスナック、アイスクリームを用意してくれました。別れの時80歳の母親は、ご一家を成都にぜひ招待したいと伝えました。

中国客人 B：3日間滞在しましたが、本当に忘れられない3日間となりました！ご主人夫婦は宮崎駿さんの漫画から出てきたような素敵な方です。親切で、素敵で、友好的で、陽気で、情熱的です～ 。ああ、言葉が足りない。ここは本来、泊まるだけの場所だったにも関わらず、遠い友人を訪ねる気がします。この経験で、漢詩の「美しい景色とおいしし酒そして美人がいることで呉を故郷と錯覚するのだ」の意味をようやく理解できました。最後に、私からの提案ですが、この宿に泊まるなら他は予約しない方が良いでしょう。なぜなら、両者のギャップが大きいため旅行の苦い思い出になるかもしれません。もし旅程にどうしても2ヵ所宿泊する必要があるのなら、ここを最後の宿にしたほうがいい。ここは間違いなくあなたの旅に完璧なエンディングをもたらします！

日本人 C：とにかくご夫婦のおもてなしの心に感激しました。とても楽しそうにご夫婦仲が良く接して頂きこちらの心もほっこりしました。早朝は池のまわりを散歩することができ池に映る山や朝日、田園風景が日本の良き田舎を感じ、また奥様が手入れされているイングリッシュガーデンがみごとでバラの咲く季節にまた訪れてみたいと思いました。ありがとうございました。心のこもった おもてなし、気配り 宿も設備も料理もお庭も期待以上にすばらしく感激しました。そして 何よりも お二人が 楽しく充実して民泊をなさっていることが伝わってきて とてもうれしく感動しました。

「本当は、この民宿をみんなに勧めたくない。あまり人気があると次回は予約が取れないのではないかと心配になるからです。」というようなコメントもある。

このようにすべての利用客が最高級の言葉を使って、佐野夫婦に賞賛と感謝の意を表し、民宿の体験を詳細に語っている。宿泊客の感想は最も効果的な広告となり、それに惹かれた人がわざわざ泊りに来ることもあったそうだ。



その予約した上海の方は、岡山空港まで迎えに来てほしいとご主人に連絡した。迎えに行くには2台の車で片道1時間30分かかるので難しいと返事をする、それでもお客は予約をキャンセルせず、予約当日夜の11時に岡山空港からやってきた。タクシー2台の料金はなんと航空券より高い。どうしてそこまでしてここまで来たのかと聞いたところ、お客さんは、ネットでの評価を見て、子供にも同じ経験をさせたいと思いやって来たそうだ。

2泊目の夜、佐野さんのお宅で奥さんがミニコンサートを開いた。佐野さん夫妻の娘さんと孫さん、そして音楽が好きな高校生も一緒に参加し、ピアノを演奏したり、歌を歌ったり、リハーサルのないピアノ連弾にドキドキしたのは、息子だけではなく、聞く側も同じ気持ちであった。流暢なメロディが部屋の中で響くと、みんなが思わず拍手を送った。旅行先でのコンサート体験は予期しなかった喜びであった。

民宿を通して各国の人々が日本への理解を増したことに、佐野さん夫婦は非常にうれしく誇りに思っている。ある上海の客は宿泊中に撮った写真を2020年のスタンドカレンダーにしたて「ぜひ上海に来て我が家に泊まってください」という手紙とプレゼントと一緒に佐野さん夫婦に送ってくれた。このようなお礼の形に佐野さん夫婦は大いに喜び、自分たちの民宿の経営方針は間違っていないとさらに自信を深めた。

今年の年末年始は佐野さん夫婦にこれまでのないものになるそうだ。なぜなら、2組の家族がそれぞれ年越しと新年を民宿で過ごす予約を早々に取っていたからである。

日本語には「もてなし」という言葉があり、「丁寧な接待」、「誠実な態度」、「思いやりの心」、「優雅で礼儀正しい対応」など複数の意味が含まれている。この言葉は日本人のお客に対する独特な考えと態度を示している。佐野さん夫婦は、日本の「もてなし」を民宿の仕事を通して世界中のゲストに伝えている。

このように地理的にも設備的にも優れているわけではない民宿だが、経営者の誠実さによってAirbnbのランキングの上位に輝き、ビジネスの成長にもつながった。また、客側もこのような民宿との出会いによって旅行が充実し楽しみも大きなものなるのではないだろうか。